

まちの出来事



船山さんが 新しい人権擁護委員に

紋別市の新しい人権擁護委員に花園2の船山洋子さん(60)が7月1日付けで就任し、この日、旭川地方法務局紋別支局で法務大臣から委嘱状が船山さんに伝達されました。小林明久支局長から委嘱



船山さん(右)に委嘱状が伝達されました

状を受け取った船山さんは「精一杯がんばります」と抱

遠藤さんに法務大臣感謝状 人権擁護委員を16年務める

7月1日、旭川地方法務局紋別支局では6月31日で人権擁護委員を退任した大山2の遠藤常子さん(75)に法務大臣感謝状が伝達されました。遠藤さんは平成元年から16年6カ月にわたって人権擁護委員として活躍しました。平成8年からは紋別人権擁護委員協議会の子ども人権専門委員も務め「いじめ」などの相談にも積極的に乗ってきま

した。遠藤さんは「かつて、いじめで相談を受けた中学生の女の子が、無事成人して、家まであいさつに来たこともありました。いろいろなありました

負を語りました。人権擁護委員は、人権について困りごとや心配ごとの相談に乗る人です。地域住民の中から人格が高く、広く社会の実情に通じている人を市町村長が市町村の議会の意見を聞いて推薦し、法務大臣が委嘱します。紋別市には男性3人、女性3人の6人がいます。



法務大臣感謝状を受け取る遠藤さん(右)

が、私自身が、相談者の皆さんから教えられてきた感じですね」と振り返っていました。

高校選手に技術を伝授

全日本男子ハンドボール



真剣な表情で練習する高校生たち

全日本男子ハンドボールチーム(松井幸嗣監督)の紋別強化合宿が7月2日から7日まで、紋別市スポーツセンターで開かれました。紋別での合宿は3年ぶり5回目、選手たちにとって、涼しさが最高の練習環境ということ

です。3日には高校生対象の講習会も行われました。参加した高校生たちは、世界レベルのプレーに驚きながらも、少しでもテクニクを吸収しようと真剣な表情で臨んでいました。

40年の節目を吟詠・吟舞で祝う

国風流紋別支部が記念大会

日本国風流詩吟・吟舞会紋別支部(定岡一照支部長)の創立40周年記念大会が7月3

日、紋別市民会館で行われました。定岡支部長のあいさつをはじめとし、来賓が40年の



吟詠のトップを切つて杉山国
最顧問が「祝吟松」を朗詠

地道な活動を称えました。このあと会員らによる吟詠や吟舞などのプログラムが展開され、日ごろの練習の成果を披露。会員は真剣な表情でステージに立ち、今後さらなる発展に向けて精進を誓い合っていました。

昭和40年に支部が創設され、続いて昭和42年に渚滑支部が結成されました。平成6年には紋別・渚滑両支部が合併し、現在に至っています。

定岡支部長は「新しいサー



クルができては消えていくなかで歴代支部長を中心に努力を重ね今日に至ったことは感無

HACC丘珠線が就航 週5日運行で札幌圏結ぶ

量」と述べ「日本特有の精神文化を守り継いでいきたい」と誓いを新たにしました。

オホーツク紋別空港に7月4日、北海道エアシステム（HACC）の丘珠線が就航しました。同空港で行われたセレモニーでは、同社の堀岡代表取締役社長、宮川良一紋別市長、井上眞澄道議らがテープカットを行い、就航を祝い合いました。

当面は今年11月いっぱい、月曜日から金曜日までの週5日運航ですが、紋別市民を初め圏域住民、それに観



地元の中学生も活躍したビーチサッカー大会

光客の便利な交通手段として定着することが期待されています。

バレーやサッカーで熱戦 ホワイトビーチフェスティバル

海の日を記念し、7月17日、海洋公園のホワイトビーチで「もんべつホワイトビーチフェスティバル」が開かれました。ビーチバレーやビーチサッカー、それに「海の日」記念の各種イベントが盛り広げられ、雨にも関わらず大勢の市民が訪れ、楽しい夏のひとときを過ごしました。

べつホワイトビーチフェスティバル実行委員会（梅見一委員長）のまとめによると、バレーとサッカーには4000人、記念行事に1、000人の合計1、400人が参加しました。

ビーチバレーには札幌など全道各地のチームが出場。2人制が札幌のドルフィンズA、4人混成も札幌のドルフィンズミックスAが優勝。サッカーでは、一般の部で北見のドモンズ、中学生の部で地元紋別のダービッツの休日が優勝しました。

ホワイトビーチは海水浴場として8月20日ごろまでオープンしていて、更衣室やシャワー施設も利用できます。